



徳山大学広報

# 学園台の風

第 59 号

平成 22 年 1 月 10 日 発行

## 学生生活のいま

経済学部現代経済学科 1 年

徳光 翔太 さん

(神奈川県光陵高等学校出身)

父の仕事の関係で北海道や神奈川に住んでいたこともありましたが、私は祖父の住むここ、山口がとても好きです。今は、学生会活動や釣りのサークルにも参加し、友達と楽しく学生生活を送っています。今後は「おっ！徳大生なかなかやるじゃないか」と言われる何かを、見つけて、仲間たちと実行していきたいと思います。



発行 徳山大学

撮影・編集 中村道陽

山口県周南市学園台

TEL 0834-28-0411 (代)

# インターンシップ 報告会開催



12月16日平成21年度 インター  
ンシップ報告会が学内で開  
催され、今年の夏休みを利用し  
て経験したインターンシップに  
各自が作成した資料に基づき、

在学生約80名の前で発表を行いました。また来  
賓として、山口県経営者協会の藤田貞雄さん、  
㈱丸久人事部総務マネージャーの小川広成さ  
んにもご出席いただきました。全体講評で、藤  
田さんは「学校では学べない企業の実態や実社  
会が少しは分かってもらえたようで、大  
変嬉しく思いました。自分自身の長所・短所を  
分析してこれから実行していくことが大切」と  
述べられました。

今回の報告者の中から、留学生の朴君のレポ  
ートをご紹介します。朴君は現在、知財開発コー  
スで学んでおり、本学の知的財産権法の講師で  
もある井上先生が所長を務める、特許事務所  
インターンシップを行いました。井上先生の事  
務所には全国から応募があり、その中から3名  
が選ばれました。朴君は今回、日本語で発表し、  
この原稿も、彼自身が日本語で綴ったレポート  
です。

## とても楽しかったインターンシップ

受入企業名 **維新国際特許事務所** 朴賢哲（徳山大学：経済学部・ビジネス戦略学科・2年）

実施期間 平成21年8月10日～14日・9月17.18日（7日間）

私は、山口市にある維新国際特許事務所  
で7日間インターンシップ生として受  
け入れてもらいました。短い期間でしたがとても勉強になった大事な日々だ  
と思います。私は韓国からの留学生ですが2年前に日本に来てからは、いろ  
んな



アルバイトもしましたし、学校の生活もちゃんとしているし、頑張っているなど自分なりに思っていました。今回の  
インターンシップを終えてからの達成感と充実感は、とても今までに感じたやりがいには敵わないのではないかなと思  
うぐらいの経験をさせていただいたと実感しています。やりがいというか、それは一歩進んだ幸せだったかもしれません。  
しかも自分ひとりだったら絶対に不可能だったことを可能にしてくれた人達との出会い、そして自分にとって他の道  
の可能性も発見出来たことは大変な経験になりました。簡単にインターンシップの内容を話すと事務のお仕事のお手伝  
いとかお使いとして働いたわけではありません。実社会の職場で本当に仕事をする新入社員の感じで何から何まで一  
から教えていただきました。

今回、このインターンシップをしたきっかけは学校の授業、つまり知的財産権法1を受講してから特許や著作  
権に興味を持つようになったからです。とにかくインターンシップはほとんど授業と同じと思うばかりで、実践ですが  
勉強の連続でした。まず、明細書という特許事務所に特許を申請する書類を作る練習をし、完成後はその明細書を使っ  
て発表までしました。特許事務所のお仕事のほとんどがこの明細書を書くための資料収集で、中でもいろいろなパート  
があつて素人の私には手に余る大変困難な仕事でした。

今回のインターンシップは私以外に2名の学生が参加していました。一人は筑波大学、もう一人は青山学院大学で共  
に院生でした。2人はすでに大学院で知的財産権法の関連資格を取ったり、関連のアルバイトもしている様でした。歳は  
私のほうが2歳上なのですが、とにかく知識・能力のあるこの2人の足を引っ張ったら申し訳ないと思ってしまって最  
初はすごく緊張してしまいました。言葉のハンディがある私はきっと2人にとって足手まといだったと思います。何と  
かインターンシップの課程をすべて終わらせることができたのもほとんどこの2人の支えや事務所の先生たちの手助け  
があったからだだと思います。インターンシップの間、湯田温泉のホテルに3人で泊まっていました。すごく勉強もしま  
したがみんなと秋芳洞の見学に行ったり、夜は食事会をするなどして沢山話をする事が出来ました。こんな経験は初  
めてだったのですべてが勉強になりました。今回、藤岡進路支援部長をはじめ、お世話になった方々には言葉で伝えき  
れないほど感謝しています。今回の経験と縁は僕の一生の財産になると思います。

## 第6回弘兼憲史徳山大学 マンガコンテスト入賞作品講評

作品講評 漫画家・教授 なかはらかぜ

◆優秀作品賞『運命の赤い糸は…』

弘中みゆき（山口県立岩国総合高等学校3年）

マンガとしてたいへんすぐれた作品です。画力もあり物語もまとまりがあります。初恋というテーマを赤い糸に結びつけて、そのアイデアを短編に落とし込むことに成功した作品です。コマ割やペンの使い方なども描きなれているので、ポーキングやパースをもっと極めるとマンガの新人賞も夢ではありません。



◆弘兼憲史特別賞『最初で最後の初恋』

渋谷翔美（大分県率輪崎工業高等学校2年）

デザイン的なセンスを感じさせるイラストです。独特なレイアウトがこのイラストの魅力といえます。黒色を上手につかっているので存在感がとて出た作品と言えます。大胆な描画方法は雑に見えてしまうところもあるので注意しましょう。



◆YAB特別奨励賞『幼く淡い想い』

石本梨紗（高知県立岡豊高等学校1年）

なつかしい小学校時代のスケッチのようなイメージのイラストです。そんな素直な表現方法が郷愁と思い出をほのぼのと誘い出しています。初恋って実は後からあれが初恋だったのかと気がつくものなのかもしれませんね



い出しています。初恋って実は後からあれが初恋だったのかと気がつくものなのかもしれませんね

◆入選『せんせいとぼく。』

泉那有（真魂館高等学校3年）

マンガの作品ですが、絵本のようにも感じられます。子ども時代の心の動きをよく表現してある作品だと感じました。色も丁寧につけてあり、特に登場人物の表情が上手です。ついつい引き込まれていく物語ですね。



◆入選『青春』

内藤詩歩（広島県立日影館高等学校3年）

誰にでも思い当たるシーン、誰もが憧れるシーン、でしょうか。ほのかな青春のときめきが、わかりやすい場面として描かれています。今回は淡いタッチがテーマとあっていましたが、もっと勉強して画力をつけて、いろいろなタイプの作品に挑戦してください。



◆入選『初恋』

野田詩織(九州産業大学付属九州高等学校1年)

不思議な夢の中で遊んでいるようなイラストです。淡い色づかいの中に初恋の心の揺れ動きが、あたかも水中で漂うように描かれています。イメージをある部分に見る人にゆだねているような、言いかえると詩的な世界観をもった秀作です。



◆なかはらかぜ特別賞『君色に染まりたい』

白松聡美(山口県立山口高等学校徳佐分校2年)

女の子らしい作品だと感じました。初恋は得て片想いの場合が多いのですが、そんな恋に悩む表情に思えてなりません。しっかりとしたタッチでイメージが伝わってくる作品です。



背景をもう少し整理するとより良くなったと思います。※入賞作品は本学の公式HPにて見ることができます。来年度もマンガコンテスト開催予定です。皆さまの応募をお待ちしています！

話題の交差点

# 硬式野球部全国大会へ

## 明治神宮野球大会へ出場

中国・四国・広島六大学の三地区の代表として、明治神宮野球大会へ出場した本学硬式野球部は、1回戦、関西地区第2代表の関西国際大学と対戦しました。11月15日雨天のため1日順延したこの日は、青空の広がる最高の好天に恵まれました。試合は1回表立ち上り、連打を浴び3点、続く2回にも3点を取られ、2回表まで、何と6点のビハインド。今シーズン通じて、このようなゲーム展開は見ることがなく、この後どうなるのかも思われませんが、2回裏には1点を取り返し、その後4回裏などチャンスを迎えるも、あと1本が出ず、9回まで終了、7-1で敗れました。しかしながら、3年生を主体としたチームにはいい経験となりました。今年、春秋連続全国大会を果たした硬式野球部、よくここまで頑張りました。また、来年も期待したいと思います。



### ～春風～オープンキャンパス 2010

平成 22 年 3 月 21 日 (日) 11:00～

- ・学部・学科説明・入試相談
- ・保護者様相談コーナー
- ・学生食堂で昼食を無料試食など

イベント!!

斉藤先生と在学生による学生生活についての楽しい座談会



### ● 父子・母子家庭特別支援奨学生制度についてのご案内

本学入学希望の父子・母子家庭を対象とした奨学金制度です。奨学制度の内容は、原則4年間、授業料の50%を減免する制度です。このことにより、意欲ある優秀な学生が、経済的状況で進学機会を失うことなく、本学で学び将来社会で活躍できるように支援することを目的として設置した制度です。 お問い合わせ先 徳山大学入試室 電話 (0834) 28-5302